

# 2013 年度龍起業塾 講座レポート

You,  
Unlimited



## 第2回 起業の真実 ～起業は易し、創業は難し～

日時 2013年5月7日(火) 17:00～19:00  
会場 龍谷大学 深草キャンパス 22号館304教室  
講師 古我 知史  
ベンチャーキャピタリスト  
龍谷大学客員教授



2013年度龍起業塾の第2回目の講義が5月7日開催されました。第2回目の講師はベンチャーキャピタリストで龍谷大学客員教授の古我知史先生です。早大政経学部政治学科卒業後、モンサント、シティバンク、マッキンゼーを経て、現在、ウィルキャピタルマネジメント株式会社代表取締役として就任されています。

### 講義サマリー

今回の講座テーマは、「起業家に必要な能力や精神性とは何か」。起業への挑戦のために必要なことを「着眼」「ソウゾウリョク」などをキーワードに講義していただきました。ワークショップも交え参加者には刺激のある講義となりました。

### キーワードは「着眼」

起業とはイノベーションを起こし、最終的には産業まで発展させること。「イノベーション」とは「フラストレーション」×「アントレプレナーシップ」です。日々の生活の中にあるちょっとした不満にアントレプレナーシップが作用すればイノベーションを起こすことができます。もちろん簡単ではありません。キーワードは「着眼」です。例えば、私が実際に関わった会社にペットの保険を扱う会社がありました。当時ペットブームでペットも家族の一員であるという考えが浸透し始めていた時期でした。この社会的動きに「着眼」してペット保険会社の設立を考えたのです。結果は見事に成功しました。すごい勢いで成長し上場しました。つまり、「着眼」とは目の付け所です。この「着眼」によってアイデアの質は大きく変わります。起業後成長できるかどうかは「着眼」にかかっているとんでもない過言ではありません。「着眼」するべきなのは社会の動きです。それも大きくてメジャーな動きではなく、小さくてマイナーな動き。それでいて今後大きくなりそうな動きです。大きくメジャーな動きはすでにビジネスが行われておりベンチャーには向かないから。しかし、小さくてマイナーな動きは捉えづらいし、その後どうなるかもわからない。そこで、重要になってくるのが「ソウゾウリョク」です。

## 2つの「ソウゾウリョク」 ～ツナマヨおにぎりに関わる事業は？～

あえて片仮名で「ソウゾウリョク」と書きました。それは「ソウゾウリョク」は2種類あると思っているからです。それは「想像力」と「創造力」です。小さくてマイナーな動きを捉えて事業化するには、その動きの先がどうなっていくのかを「想像」し、その動きを刺激するアイデアや事業を「創造」しなければなりません。

私が話しているだけでは飽きたと思いますので、みなさんに起業家の資質があるか試してみましよう。「ツナマヨおにぎり」に関わる事業を思いつく限り書き出してみてください。3分以内です。20個以上書ければ合格といっいでしょう。

みなさんはいくつ書けましたか。

## 「着眼」とアイデア創出の実践(ワークショップ)

最初も言いましたが、起業とは産業を作ることです。小さな社会の動きに「着目」して起業すると、同じような起業が多数あられ大きな社会の動きとなり、最終的には産業になるが、生き残るのは数社だけです。生き残るためにはやはり「着眼」が重要です。列挙する社会の小さな動きに着目してビジネスアイデアを考えてみてください。3人1組ぐらいでチームを作りましよう。

制限時間は5分です

### ◇列挙された小さな動きの例◇

- ・1人暮らしの女性が増加傾向にある。
- ・家事をする男性が増えてきている。
- ・高齢者の独り暮らしが増えている
- ・教育を学校だけに任せることはできない



## 起業するには ～やりたい、できる、やり遂げる～

起業する上でもう1つ大切になるのはチームです。1人で起業は絶対にできません。それぞれが異なる長所を持つ人でチームを作ることが大切です。私がベンチャーキャピタリストとして出資する際に見るのは、何よりもまずチームができているかどうかです。面白いチームができれば出資するし、できていなければ絶対にしない。成功している企業は2人組の経営者が多いです。GoogleやAppleも最初は2人組でした。他にもベンチャーで成功している会社に共通している部分はいくつかあります。誤解を怖れず言うと、就業規則があるベンチャーは成功しません。もちろん成功しているベンチャーにも規則はありますが、守っていないので結果的にないのと変わりません。なぜ守っていないのかというと仕事が楽しくて仕方ないからです。事業を成功させることに必死です。それだけの情熱がベンチャーを成功させるのに必要ということですね。また、人格破綻者も多いです。突き抜けた何かを持っている人は強い。しかし、人格は、起業当初は破綻していたとしても、企業を運営していく過程において様々な経験や人との出会いによって磨かれていきます。

最後に、起業は自分のしたいことから始まっていくと思います。しかし、起業しようとしても難しい問題が山積みで諦めてしまうかもしれません。そんなときは「やりたい、できる、やり遂げる」とつぶやいてください。そして覚悟してください。起業に限らず、やりたいことを諦めようとしたときは、この言葉で自分を鼓舞して諦めるようなことはしないでおきましよう。皆さんがやる気ならば相談にも乗りますのでご連絡ください。